

群馬県立女子大学  
公式ウェブサイト再構築・保守業務委託  
仕様書

平成29年(2017年)6月

## 目 次

### 第1章 業務委託の概要

- 1.1 委託業務名
- 1.2 委託期間
- 1.3 背景と基本的な考え方
- 1.4 スケジュール

### 第2章 ウェブサイトの運用状況について

- 2.1 対象ウェブサイト
- 2.2 現在の運用状況について
- 2.3 再構築後の運用方針について

### 第3章 委託業務の内容

- 3.1 システムの構成
- 3.2 サイト構造・デザイン等の再構築
- 3.3 ページの移行作業
- 3.4 運用保守業務
- 3.5 マニュアルの作成
- 3.6 研修・説明会の実施
- 3.7 成果物の納品

### 第4章 その他留意事項

- 4.1 セキュリティ対策
- 4.2 打合せおよび連絡調整
- 4.3 その他の追加提案

## 第1章 委託業務の概要

### 1.1 委託業務名

群馬県立女子大学公式ウェブサイト再構築・保守業務委託

### 1.2 委託期間

契約締結日～平成 35 年 3 月 31 日

### 1.3 背景と基本的な考え方

#### 1.3.1 群馬県立女子大学公式ウェブサイトの経緯と現状

群馬県立女子大学（以下、「本学」という。）公式ウェブサイトでは、在學生、受験生、卒業生、地域の方など様々な方へ本学の魅力を発信する広報媒体として活用されてきた。

しかしながら、スマートフォンなどの普及やブラウザの進化などに伴い改善を進めていく必要が生じ、また迅速な更新情報の公開などが必要となっている。

また、公式サイトとして、誰もが使いやすいウェブサイトとなるようにアクセシビリティの改善を進めていく必要がある。

#### 1.3.2 本業務の概要と基本的な方針

本業務では、上記の課題等を解消することを目的に、ユーザビリティ向上のための諸機能の検討やウェブアクセシビリティ対応など、再構築に伴う総合的なコンサルティング業務も行う。

あわせて、コンテンツマネジメントシステム（以下、「CMS」という）の導入構築、サイト構造の検討やデザインの作成、現ページの移行作業、運用マニュアルの作成や職員の操作教育といった再構築にかかる全般的な作業を行う。

CMS の導入等により、各部署がウェブサイトのページ案を CMS 上で作成し、管理者（事務局総務係）がそれを承認できる運用を行う。

再構築の基本的な方針は以下のとおりであり、受託業者はこれらを十分に理解した上で業務を実施すること。

##### (1) 本学の特徴を生かしたウェブサイトのデザインおよびコンテンツを提供する。

本学の基本理念やモットーをウェブサイトデザインおよびコンテンツに反映することにより、本学の好イメージを発信する。

■大学の目的等（参照：<http://www.gpwu.ac.jp/guide/idea.html>）

広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、家庭生活の向上及び地域社会における文化の進展に寄与し、更に国際化社会に対応し得る広い教養と豊かな情操を備えた人材を育成することを目的とする。

##### (2) 利用者の誰もが目的の情報に簡便かつ快適にたどりつけるようにする。

ア さまざまなステークホルダー（志願者、在学生、地域住民、企業等）の特性に配慮したサイト構造設計および利便性を重視した使いやすいナビゲーションを配置したページデザインとする。

イ トップページで、サイト訪問者に本学のイメージを持ってもらう。また、関連情報を見つけやすくし、リピータを増やすとともに直帰率を減少できるよう配慮する。

ウ スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォンやタブレットでのブラウジングに配慮する。

### (3)教職員が容易にページの作成・管理等をできるようにする。

ア 本業務によって導入する CMS によって、教職員によるページ作成・更新・管理等の作業を容易に行うことができるようにする。

イ 特に、教職員が HTML のソース編集を行うことなくページ作りが可能な仕組みとすることにより、教職員のページ作成・更新作業の負担を軽減する。さらに CMS の諸機能により、ホームページの管理を行う職員の負担を軽減する。

### (4)緊急時に情報を即座に提供できるようにする。

災害発生時等の緊急事態において、職員が正確な情報を即座に分かりやすく提供することが可能なウェブサイトを開発・構築する。このため、サーバは学外のデータセンタを利用するものとする。

### (5)拡張性の確保および柔軟性の高い保守運用対応を実現する。

本業務で構築する CMS は、運用開始後に機能向上やウェブサイトの構造変更等を柔軟に行えるものとする。また、本業務の受託業者は、システム等の定期的な保守を実施するとともに、製品のバージョンアップの対応など、システムのバージョンアップ等の機能向上のための対応をできる限り行うものとする。

## 1.4 スケジュール

本学が現在想定しているスケジュールは、以下のとおりである。より詳細なスケジュールは、本学と受託業者が別途協議し決定する。ただし、リニューアルページの公開日は平成 30 (2018)年 4 月 1 日（予定）とするため、これに合わせたスケジュール管理を行うこと。

### [CMS 作業スケジュール]

	平成29(2017)年度					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要件検討						



本学各部署のウェブサイト作成者。本学各部署とは、各学部学科担当教職員、事務局職員で、利用予定者は約 20 人である。(※4各学科・2課程担当者：各1名、センター教員3名、事務局各係担当者+総務係員：11名)

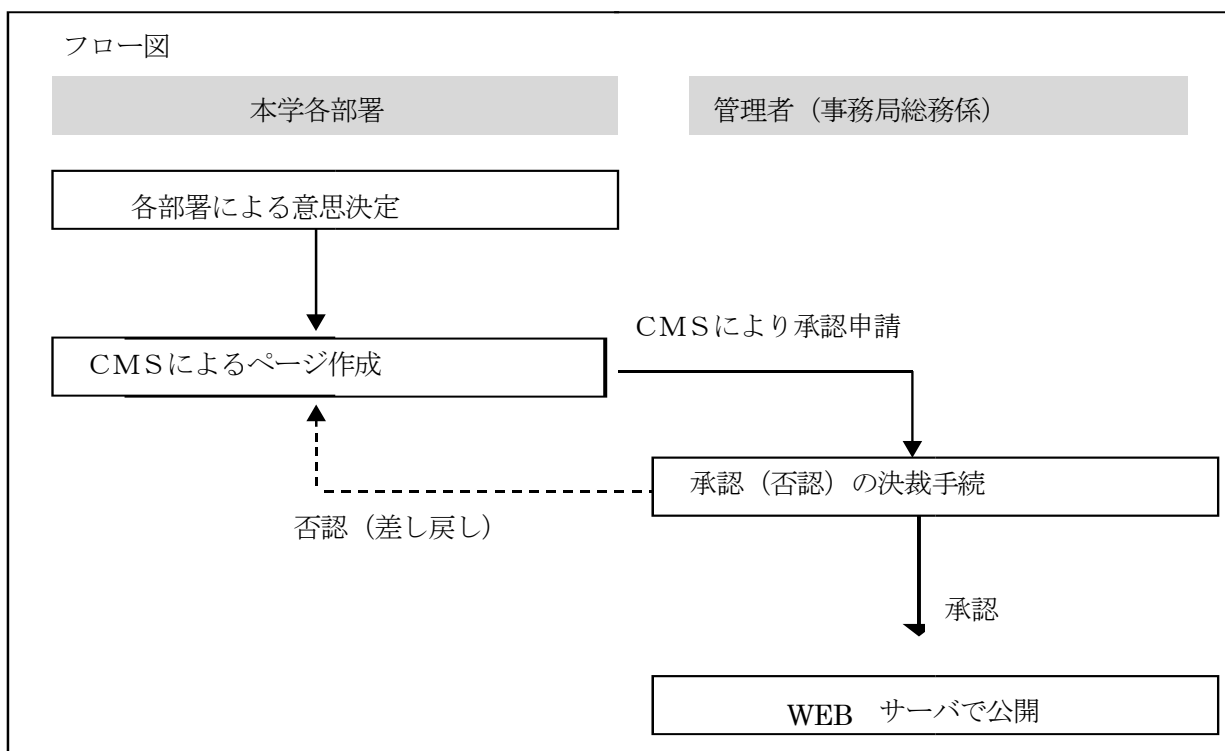
## (2) 管理者（管理者アカウント保持者）

ウェブサイトでの公開の可否を最終的に判断する、ウェブサイト管理者。2.3.3 の承認、公開サーバへの緊急的なアップロード等、全ての行為を行える。

また、作成者のユーザ管理等、システム全般を管理する権限を持つ。

(※管理部長、管理部次長、総務係長、総務係員2名 計5名)

### 2.3.3 CMS における承認フロー



## 第3章 委託業務の内容

### 3.1. システムの構成

本学公式ウェブサイトは、データセンタのレンタルサーバを利用し、当該サーバ上で運用する。

受託者は、受託者が構築する本システムが、円滑かつストレスなく運用できる仕様を有したレンタルサーバを調達する必要がある。なお、レンタルサーバの調達に必要な初期費用及び契約期間中の経常費用は、受託者において支払うものとする。

本学公式ウェブサイトへの情報の登録にあたっては、CMS を利用することにより HTML の知識を有しない職員等であっても容易に作業ができるインターフェースを有するものとする。

### 3.1.1 システム基本構成

#### (1) システムについて

導入する CMS は、外部のデータセンタで構築し運用するものとし、提案する CMS が本学での利用においてストレスなく動作するスペックの機器および接続環境を提案すること。

運用開始後本学が求める応答時間などが得られない場合は、受託者が責任をもって改善を行うこととする。その場合の費用は受託者が負うこととする。

●サーバスペックは、以下を参照。

- ア CPU：IntelXeonL5630(2.13GHz)又はこれと同等以上のもの
- イ メモリ：8GB以上
- ウ 内蔵HDD：実質容量400GB以上
- エ バックアップ：1回/日、5日分を保存しておくこと。
- オ サーバアプリケーションは、本学のシステム運用を考慮して選択・導入することとする。なお、セキュリティに関しては、本学と十分に協議の上、決定するものとする。
- カ ハードウェアの主要なコンポーネント（CPU、メモリ、筐体内温度、RAIDシステム、HDD、ネットワーク等）を監視できること。
- キ 無停電電源装置対応ソフトウェア
- ク ウィルス駆除ソフトウェア
- ケ 設定作業の内容
  - ①必要な場合は、DNSサーバーの構築を行うこと。
  - ②公開用Webサーバーの構築を行うこと。（※レンタルサーバーの場合は不要）
  - ③上記サービスを正常に動作させる上で必要なソフトがある場合は、それらもインストールを行うこととする。
  - ④本学指定のセキュリティに基づいて構築を行うこと。
  - ⑤設置予定サーバーに、新ウェブサイトを構築することとする。
  - ⑥設置及び設定方法については本学と十分協議の上決定するものとする。

#### (2)稼働するデータセンタ要件

別紙1 データセンタ要件一覧に準拠すること。

(3)ユーザーがPC 端末から CMS にアクセスし、ページを作成・更新する。本ページは、管理者の承認等の手続きを経た後、CMS から公開用 Web サーバに定時または随時にアップロードされる仕組みとする。

(4)導入後も、カスタマイズ部分を含め可能な限り保守費用の範疇にて最新の機能を提供すること（可能な範囲を提案書に明記すること）。

### 3.1.2 CMS の基本要件

CMS の基本要件は、「別紙2 CMS 基本要件表」のとおりである。

●「必須項目」は必ず満たさなければならないものとする。

☆「推奨項目」は、必須の要件ではないが、本業務の受託業者選定の際の評価に反映するものとする。

なお、対応方法が異なる場合やカスタマイズまたは他のソフトとの連携等により対応が可能となる場合は、その旨を「対応方法・特記事項」欄に詳細に記載すること。

ここに書かれた内容も本業務の受託費用に含むものとする。

### 3.1.3 セキュリティ要件・システム要件

(1) 本学の「情報ネットワークセキュリティポリシー」を遵守した設計とすること。

(2) 脆弱性対応として、「安全な Web サイトの作り方」((独) 情報処理推進機構) に準拠すること。

(3) 第三者によるウェブサイトの削除、改ざんを防止するための対策を講じること。

(4) 学内・学外問わず、ウェブサイト閲覧者は端末のブラウザ等に <http://www.gpwu.ac.jp/> を入力することで本ウェブサイトの閲覧が可能となること。また、法定電源設備点検等で学内のネットワークが停止している状況においても、<http://www.gpwu.ac.jp/> にアクセスが可能であること。

### 3.1.4 開発要件

(1) 受託業者において開発環境を用意すること。

(2) 開発されたシステムが業務で使用できるかどうかを検証するため、以下の項目に留意し、本番環境下で総合試験を実施すること。

・すでに稼働している他システムに影響を与えないこと。

・試行運用開始に向けた動作確認として必要十分と思われる事項（テストの手順、内容等については本学と協議の上決定する。）について検証すること。

(3) 後述のとおりアクセシビリティ・ユーザビリティに配慮したものとする。

(4) ウェブサイト閲覧のアクセスログが保存されること。万が一、不正アクセスを受けた場合等にアクセス元の IP アドレスや不正アクセスを受けたコンテンツを把握できる仕組みを有すること。

## 3.2 サイト構造・デザイン等の再構築

1.3.2 の方針のとおり、利用者の視点に基づいたサイト構造とし、本学の特徴を生かしたウェブサイトのデザインおよびコンテンツとするため、サイト構造やデザイン（グローバルナビゲーション）等について見直すこととする。

本業務では、これら再構築にかかるコンサルティングを行うとともに、これに合わせた CMS の設定や各階層へのページ移行、デザインの作成等を行う。



### 3.2.1 コンサルティング

本業務で行うコンサルティングの内容は以下のとおりである。企画提案時には、これらについて具体的な実施方針や内容、実績について提案を行うこと。

- (1) 目的の情報に簡便かつ快適にたどりつけるとともに、現在のコンテンツ群をリニューアル後も利用できるようなサイト構造の設計を行う。
- (2) 既存ページの移行に関するコンサルティングを行う。

### 3.2.2 サイト構造の設計

- (1) スマートフォンやタブレットでのブラウジングに配慮すること。
- (2) 現行ホームページの課題やリニューアルの基本方針を示し、受託業者が今までの構築経験から、最適と思われるサイト設計を行うこと。
- (3) 主要なコンテンツについては、原則 3 クリック以内、最大 5 クリック以内でたどり着く階層構造とすること。
- (4) 利用者にとっての使いやすさを優先し、タイトルからコンテンツの内容が想像できるラベリング・設計を行うこと。
- (5) 主要な情報以外にも、トップページやメニューページ、末端ページから複数の導線でアクセスできるように配慮して設計すること。
- (6) メニューなどのグローバルナビゲーションにあたる新ホームページの構造上必要となる基幹ページを受託業者にて作成すること。
- (7) グローバルナビゲーションについては、管理者権限において変更できるようにすること。  
(トップページ等の画像の差し替え、テーマカラーの変更、バナーの追加・削除 など)

### 3.2.3 デザイン

現行ウェブサイトの課題やリニューアルデザインの方針を示し、受託業者が最適と考えるデザインを作成すること。

#### 3.2.3.1 トップページ

トップページのデザイン案は以下の(1)～(4)に基づき作成すること。

- (1) 本学の特徴やイメージに合ったデザインとすること。
- (2) アクセシビリティやユーザビリティに配慮すること。
- (3) 大きなトピックス（オープンキャンパス、入試等）を目立つように表示できるようにすること（複数表示可能にすること）。
- (4) トップ画像の入れ替えを容易にすること。
- (5) 期間限定告知バナーの追加・入れ替えを容易にすること。
- (6) トップページのテーマカラーの変更を容易にすること。

#### 3.2.3.2 基本デザインの作成

前項にて決定したトップページにあわせた本文用のテンプレート、ライブラリ、スタイルデザインを作成すること。

- (1) スマートフォンやタブレットでのブラウジングに配慮すること。
- (2) 各ページには、タイトル情報、ナビゲーション（階層リンク）を付与すること。
- (3) 作成したテンプレートが各ブラウザで適切に表示されるかを確認すること。確認する環境は、Internet Explorer9 以上、Firefox、Safari、Chrome の最新版とする。

スマートフォンは、iPhone : iOS4 以降、Android : Android OS2.3 以降の標準ブラウザで確認すること。Windows mobile に対応できること

#### 3.2.4 サイト内検索機能

利用者が求める的確な検索結果が表示されるように、サイト内検索機能として google 検索機能または同等の検索機能を設けること。

#### 3.2.5 RSS による新着情報等の配信

利用者が大学公式ウェブサイトへより積極的にアクセスすることを促すため、RSS フィードにより新着情報等を配信する。以下のページは必ず設置するとともに、利便性向上のためにその他必要なページを提案すること。

- ・大学トップページの最新情報 (<http://www.gpwu.ac.jp/>)

#### 3.2.6 アクセシビリティ等への配慮

アクセシビリティの評価については、CMS が提供するテンプレートについて (HTML および CSS)、総務省の miChecker にて「ウェブアクセシビリティ達成等級 A の基準」と評価されること。また、サイトの構文・文法のチェックについては、同様に W3C の Markup Validation Service にてエラーが無いこととする。

また、これらのチェックは複数の段階で行い、問題がない旨を本学へ報告すること。

### 3.3 ページの移行作業について

本学担当者と打ち合わせの上、3.2.3.2 で作成したテンプレートに、既存ページのデータを当てはめてページを完成させること。ただし、サイト構造やテンプレートの変更をとまなうため留意すること。

なお、移行ページについては、各ブラウザで適切に表示されるかを確認すること。

### 3.4 運用保守業務

新ホームページ運用開始から契約完了日まで（平成 30 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日）の運用・保守作業を本業務内で行うこと。

### 3.4.1 保守業務内容

- (1) システムの安定的運用を図るため、ソフトウェア、設備・機器、セキュリティに関して定期的な保守を行うこと。
- (2) OS 等ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は稼働確認の上パッチを適用する等のセキュリティ対策を実施すること。
- (3) ハードウェア障害の早期発見・予防を行うこと。また 365 日 24 時間障害検知、監視を行うこと。
- (4) 365 日 24 時間稼働ができること。稼働率は 99.5%以上を保障すること。

### 3.4.2 障害管理業務

障害への対応にあたっては、本学と調整を行い、ハードウェアやシステムをはじめとする各種ソフトウェアの復旧対応作業、およびデータの復旧作業を行うこと。また障害事後対策として、収集した障害情報をもとに原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正措置・予防措置を講じること。

なお、障害への対応は、月曜～金曜 9:00～17:00 とする。

### 3.4.3 問い合わせ先

本学管理者から、電話または電子メール等による運用、保守に関する技術問い合わせに対する対応を行う体制を有すること。

また、本学からの障害連絡を受けられるように、保守の連絡体制を整備し、報告を行うこと。

なお、保守の連絡窓口は、システム、アプリケーション等を含めて一つとすること。

### 3.4.4 システム障害復旧時間

障害があった場合、本学は受託業者へ通知し、受託業者は通知から 2 時間以内に初期対応策を本学に提示する。

また、受託業者は障害通知から原則として 24 時間以内に復旧するものとするが、明らかに 24 時間以内に復旧できない場合は、復旧に要する時間を明らかにし、本学の承認を得ることとする。

### 3.4.5 スキル要件

責任者および障害管理・ソフトウェア保守の担当者は、プログラムの改修や障害対策に関する十分なスキルを有すること。

## 3.5 マニュアルの作成

### 3.5.1 一般マニュアル

ページ作成から、公開承認までの操作マニュアルを作成すること。業務処理、研修教材および機能紹介に十分利用できるものとし、各機能単位に各業務の流れ、画面ハードコピー上に着目点などをマークし、入力方法の説明およびメッセージ等を明確に記述するものとする。

### 3.5.2 管理者用マニュアル

(1) 管理者機能やシステム構成等を記載した運用マニュアルを作成すること。(トップページの画像等の変更方法についても記載すること)

(2) なお、障害時の緊急対応方法について必ず明記すること。

## 3.6 研修・説明会の実施

システムを円滑に運用するため、ユーザ向けの研修を実施すること。本学が求める内容は以下のとおりであるが、操作の習熟のしやすさによって、内容を変更する可能性がある。

また、研修用の部屋および機器は、本学内に本学が用意する。研修用の端末に受託者がコンテンツを用意し、実務的な研修が行えるよう設定すること。

- ・ ユーザ及び管理者研修 2 時間程度 30 名×1 回=30 名 (※平成 29 年度のみ)
- ・ ユーザ向け研修 2 時間程度 20 名×1 回=20 名 (平成 30 年度～平成 33 年度)

## 3.7 成果物の納品

以下の成果物を電子データ (Office 形式) および印刷物で納品すること。

(1) CMS にかかるソフトウェアおよび本学ホームページ用設定情報等一式：1 部

(2) ドキュメント一式

- ・ ホームページ設計書：1 部
- ・ テスト結果報告書：1 部
- ・ 一般マニュアル：10 部 (カラー刷り)
- ・ 管理者用マニュアル：5 部 (カラー刷り)

(3) 本学公式ウェブサイトの各種コンテンツのデザインに使用した画像の元データ (レイヤーを保持した高解像度画像データ) 一式

※当該データを利用して、本学が新たな画像を作成することを承諾すること。

## 第4章 その他留意事項

### 4.1 セキュリティ対策

本業務の遂行にあたっては法令等を遵守し、成果品に潜在的なセキュリティの脆弱性が生じることのないよう、また、個人情報の適切な取り扱いを行うよう、留意すること。

#### **4.2 打合せおよび連絡調整**

- (1) 委託業務を円滑に遂行するため、本学との打ち合わせ、協議を行うこと。
- (2) 本学の作業も含んだ委託業務の進捗管理について、報告を行うこと。
- (3) 仕様の確認等を行うため、実施後すみやかに議事録を提出すること。
- (4) 本学に関わるネットワーク業者、ハードウェア業者、ホームページ運用支援業者、その他関連するシステムの保守業者等との連絡調整や確認を随時行うこと。

#### **4.3 その他の追加提案**

本業務の仕様は、現在本学が最低限必要と考えているものである。受託業者の専門的な立場から、他大学の事例や今後の技術革新を見据え、本業務の費用範囲内で効果的な提案がある場合は行うこと。

## 別紙1 データセンタ要件一覧

### (1) 立地条件

項目	要件
所在地	日本国内であること

### (2) 電源設備等に関する要件

項目	要件
受電方式	2回線以上の受電が可能なこと。
受電容量	サーバエリア電源容量、その他運用する機器の電源容量、施設・設備電源容量等を十分に確保していること。また、将来の収容計画に耐えうる電源容量を有すること。
冗長性	法定点検や工事等の際にも電力の供給を止めることなく電力を供給できる冗長構成を有すること。
無停電電源装置	自家発電設備が起動し安定した電力の供給ができるまでの間、無停電電源装置等による安定した電源供給をできること。
	瞬停(サグ)、電圧降下(ブラウンアウト)、突入電流、サージ(過圧)等の電源トラブル対策を講じていること。
	停電時に自家発電が起動するまでに、瞬断することなくサーバ機器に10分以上十分な電力供給が可能な容量を持つ無停電電源装置(UPS)が設置されていること。

### (3) サーバ室に関する要件

項目	要件
床強度	サーバ室の床強度は、情報システム機器等の総重量に耐える強度を有していること。
空調設備	空調は24時間365日の連続運転が可能なこと。
	ラック外の周囲の温度と湿度を適正に保ち、誤動作せず、かつ四季を問わず結露の発生しない設定温度、適正湿度を維持できること。
	温度、湿度は機器等の安定稼動に影響を及ぼさないように保たれていること。
	局所的熱溜まりを発生させないこと。
	増加するIT機器の発熱量に対応できること。
	空調設備の集中監視が可能であること。
	故障による代替空調が可能であること。
空調機排水周りの水漏れ検知を行うこと。	

### (4) 防火設備に関する要件

項目	要件
サーバ室内消火設備	ガス系(窒素等)消火設備を有すること。

### (5) 防犯設備に関する要件

項目	要件
施設入退館管理	入退者を識別・記録できるセキュリティ設備(ICカード等)により許可された者のみ入退室が可能なこと。
	施設内の電源設備、空気調和設備、セキュリティ設備等は、常時故障監視がされているとともに巡回監視が実施されていること。またサーバ室は、複数の監視カメラにて目視監視可能であること。
防犯設備	防犯設備導入を行い、出入口等の常時監視を行っていること。

